

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（営業担当）	・人々の動きから判断して、この2、3か月が景気の底という感じがしており、今後は、少しずつ回復する。
		スーパー（店長）	・来客数、客単価ともに上昇傾向にあり、やや良くなっていく。
		乗用車販売店（従業員）	・新しく発売された新型車が、まずまず好調である。
		旅行代理店（従業員）	・企業の団体旅行は低調だが、個人旅行は若いOL、あるいはシルバー層を中心に、やや活況を呈してくる。
		通信会社（営業担当）	・夏物商品を中心に、新たな購買の動きがみられる。
		住宅販売会社（従業員）	・契約までの期間が長くなっているが、ゴールデンウィーク等の来客から受注が見込まれる。
	その他住宅〔不動産〕（経営者）	・買い注文が増加しており、これから良くなる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・雨降りの日が少ないにもかかわらず、来客数が大幅に減少しており、好転する要素がみられない。
		百貨店（売場主任）	・客の動向をみると、秋物の立ち上がりが不透明であり、良くなる要素があまりない。
		百貨店（営業担当）	・引き続き、有名ブランド商品は、好不調がはっきりしている。家庭雑貨、パジャマ、エプロンなどはこだわりがみられ、パーソナルギフトについては本物志向の傾向が全般に強くなっている。しかし、取り急ぎ必要のないものに対しては、関心が少ない。
		スーパー（財務担当）	・大型小売店の出店があり、ボーナス商戦を控え、競合店との競争がますます激化している。
		コンビニ（店長）	・1年間で最も忙しい時期に入るが、前年と比べると、相変わらず単価が低く、全体的な売上は、ここ何か月かと同じ割合で落ちていく。
		衣料品専門店（経営者）	・高級品の購入については非常に慎重であり、所得が増えてこなければ、消費に結びつかない。
		衣料品専門店（店長）	・ボーナスが出たにもかかわらず、高いものが売れず、購入点数も少ない。
		家電量販店（店長）	・冷蔵庫、エアコンという季節商品は、昨年の買い控えの反動から売上が伸びているが、パソコンが回復基調にないため、全体の販売量は厳しい状態が続く。
		乗用車販売店（管理担当）	・企業が、社有車の使用年数や走行距離の延長をしたり、また、人員削減により生じた余剰車両を他地域に回したりしており、買換え需要につながらない。
		タクシー運転手	・ボーナスカットが予想されるという声が昨年よりも多く、また、病院通いの客も減少している。
	観光名所（経営者）	・来客数は微増すると思われるが、客単価が、現在と同様に低いまま推移する。	
やや悪くなる	百貨店（販売促進担当）	・ミセス層の動きは堅調であるが、ヤング・OL層の動きが、客単価の低下と合わせて悪くなっている。また、当店は年内に閉鎖するということもあり、プライダルやお祝いギフトの動きがほとんどなくなっている。	
	百貨店（会計担当）	・先行きに不安を感じている客が多く、必要なものだけを買うという行動が目立ち、余裕が全くみられない。	
	スーパー（店長）	・来客数の落ち込み同様、単価・売上点数とも、さらに落ち込む。	
	乗用車販売店（従業員）	・購入態度が慎重になっていることから、商談時間が長くなり、商談回数も増えてきている。	
	住関連専門店（経営者）	・来客数が減少しており、期待できない。	
	観光型旅館（経営者）	・1、2、3月で底を打ち、上昇傾向にあったが、今後の予約状況が悪くなってきている。	
企業 動向 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品が、少しずつ売れてきている。
		化学工業（営業担当）	・全体的に受注量が上向き傾向にあり、秋需要に向けて継続される。
不動産業（経営者）	・高額商品が動きつつあることから、今後は、不動産取引が多くなる。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	家具製造業（営業担当）	・荷動きが多少良くなっているが、大手企業の工場の海外移転に伴う国内生産の不足分の企業間競争や、低価格商品へのシフトも進行しており、予断を許さない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・この5月末に建設リサイクル法が施行され、また、来年7月の排ガス規制の改正やNOX、PM法の適用により、今年9月の登録車が10年適用となるのならないかの見通しが立っていないため、ユーザーの動きが極めて慎重である。
		輸送業（支店長）	・これからも運賃の低下と物流の減少から、廃業や規模縮小、倒産が出てくる。
		通信業（支店長）	・株価が相変わらず低く、周りをみても元気のある企業がない。
		広告代理店（経営者）	・得意先のスーパーの売上が下げ止まったとの話もあるが、この先は不透明であり、依然として広告出稿の予算規模が低い状況が続く。
	やや悪くなる	食料品製造業（従業員）	・香料や農薬問題から食品業界の自主回収が続いており、見通しがたたない。
建設業（総務担当）		・新規案件の減少から競争がますます激しくなっており、安値受注をせざるを得ない状況になる。	
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・優秀な人材を確保したいという動きがみられ、景気が少し良くなる。
	変わらない	職業安定所（職員）	・長引く不況のため、特に自営業を営んでいた方の求職申込が増えているなど、今後、改善される要素が見あたらない。
		職業安定所（職員） 学校[大学]（就職担当）	・求人に回復の兆しがみられない。 ・過去の動向から、大きな変化が起こる兆しが無い。
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・派遣料金の低下が続く。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が0.36倍まで落ち込んでいるが、求人数の減少傾向に歯止めがかからない。パート求人も9か月連続で対前年同月比マイナスとなっており、改善の兆しが感じられない。
	悪くなる	-	-